

福徳祝儀帖

以手帑致啓之先以
貴家所持卷中様煙
能幸賀之昨日幸得之
氣也宜哉此新電も亦
福徳あるに大に合
目出度存心就吏何如
此付若く一品とも心
くも萬端に整ひく
此中へ所へ工吏も付き
ふくく杯にけり玻璃
鏡一面致進呈に皆亦
用ひ給下しに粒も存
以何事所出の事あり
申上り也

活帶一面致お見合
一家元為格孫出来健
目出度存し能きと殺
新也へ福從いたし
いふがラス鏡一面は智
下は順満是く玉と
以たす必用いふ故も
石留へお懸けしやと
存し格別いふ心入る
難き存し此以て敬
及此礼居也